

施策マネジメントシート(2024年度の振り返り、総括)

作成日 2025 年 8 月 1 日

基本目標	Ⅱ	豊かな自然と共生するまち						
施策	12	自然環境の保全	主管課	名称	企画課		関係課	観光商工課 観光振興係
				課長	小池 俊弘			
				担当係	地域創生係、企画調整係			
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 4 質の高い教育をみんなに 6 きれいな水 7 エネルギー 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう								

目的と基本方針	自然資源の価値を認識する
	・環境教育を推進し、自然環境調査、保全活動を積極的に支援します。
	・ユネスコエコパークの理念に基づく取り組みを通じて、SDGs達成への貢献を目指します。

考え基本事業の	・ユネスコエコパークの理念を引き継いでいく取り組みを進める。 ・自然環境の調査研究を行い、地域への還元に努める。 ・SDGsへの理解を深め、行動につなげるための仕組みづくり及び支援に積極的に取り組む。 ・ゼロカーボンシティ実現に向けて周知を図り、再生可能エネルギーの可能性を調査し、導入を推進する。
---------	--

基本事業	基本事業名	対象	意図	取り組み方針
	1 ユネスコエコパーク推進	町民及び町外の人	ユネスコエコパークの理念を次世代に引き継ぐ。	環境学習等を通じ、「人と自然の共生」というユネスコエコパークの理念の浸透と継承を目指します。
	2 SDGs啓発・活動支援	町民及び町内事業者	SDGsを理解し、活動に取り組む。	SDGsへの理解を深めるために研修等を行い、活動に取り組む個人や団体等を支援します。
	3			
	4			

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状	2. 施策の課題
	・小中学生や高校生を対象とした普及活動や自伐型林業の推進等により、みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度や自然環境が守られていると感じる町民の割合は、高い水準を維持しています。 ・SDGs未来都市に選定(令和元年7月1日)されていますが、町民の認知度は町民アンケートで29.7%(令和3年度末)にとどまっています。 ・ゼロカーボンシティを2020年7月28日に宣言していますが、脱炭素へ向けた具体的な取り組みが進んでいません。	・ユネスコエコパークの認知・理解度を維持していくためにも、環境教育を継続していく必要があります。 ・谷川岳周辺登山者の、環境に対するモラルの低下が感じられます。 ・SDGs未来都市に選定されているにもかかわらず、SDGsへの理解度が低い状況となっています。 ・ゼロカーボンシティとして、脱炭素への計画的な取り組みが必要です。
	3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化する？	4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？
	・ユネスコエコパークの定期報告(10年目)を2027年に控えている。 ・企業の自然環境に対する関心が高まっている。 ・国が2050年に、温暖化ガスの排出実質ゼロを目指すゼロカーボン宣言を行っている。	・子ども達への環境学習への取り組みを継続してもらいたい。 ・日々の生活や生産活動において、何をすればSDGsや脱炭素に結び付き取り組みになるか学ぶ機会が欲しい。

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	・子どもから高齢者まで、町の自然に理解を深め、自然を「まもり」「いかし」「ひろめる」ことに取り組む。 ・家庭や事業所において、SDGsや脱炭素について関心を持ち、できることから取り組む。	・みなかみユネスコエコパークの趣旨や取り組みを町内外に周知していく。 ・群馬県自然環境保全条例や自然公園法等を適正に運用し、自然環境の調査・研究及び保全を行う。 ・赤谷プロジェクトが取り組む生物多様性保全活動を支援する。 ・谷川岳エコツーリズム推進全体構想に基づいた取り組みを推進する。 ・「SDGs未来都市」であり、「ゼロカーボンシティ」を宣言している町として、持続可能なまちづくりに取り組む。

施策	12	自然環境の保全	主管課	名称	企画課
				課長	小池 俊弘

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
	A	みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度	%	実績値	85.7	82.4	87.8	87.7			
				目標値		90.0	87.0	88.0	89.0	89.0	90.0
	B	SDGsの認知度・理解度	%	実績値	41.7	52.6	81.2	83.7			
				目標値		—	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0
	C	省エネ・地球温暖化対策に取り組んでいる町民の割合	%	実績値	74.7	78.2	76.4	75.1			
				目標値		—	78.0	80.0	80.0	82.5	85.0
	D			実績値							
				目標値							

成果指標の達成状況	A	未達成	成果増減の要因	A	令和5年度からスタートしたネイチャーポジティブの取り組みが各メディアで取り上げられたため、その原点でもあるユネスコエコパークに対する認知度は20代～40代で改善したものの75歳以上の認知不足は解消していない。
	B	達成		B	全国的なSDGsの拡がりに加え、まちづくり協議会における勉強会やSDGs推進協議会主催の研修会の開催やパートナー制度の登録団体等を町広報で紹介したため認知度は向上した。
	C	未達成		C	住宅省エネルギー設備設置費補助事業を活用し再生可能エネルギーに転換する動きはあるものの、節電・節水に取り組む町民の割合が大きく減少した。一つの要因として気候変動によるエアコン利用が推奨されていることなどが考えられる。
	D			D	

基本事業名			指標名	単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
基本事業の成果指標	1	ユネスコエコパーク推進	A	環境学習参加者数	人	実績値	2,297	2,729	2,756	2,403			
						目標値		—	2,400	2,500	2,500	2,500	2,500
			B			実績値							
						目標値							
	2	SDGs啓発・活動支援	A	SDGsパートナー登録累積数	件	実績値	—	—	4	15			
						目標値		—	10	30	40	45	50
			B			実績値							
						目標値							
	3		A			実績値							
						目標値							
B					実績値								
					目標値								
4		A			実績値								
					目標値								
		B			実績値								
					目標値								

基本事業取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	環境学習やエコツアー登山、自然観察会など、自然の素晴らしさを体感できる事業を展開している。	重複カウントが判明したため下降修正したが、指標として把握していない取り組みが増加している。	エコツアー登山や自然観察会に限らず、環境学習等を通じてユネスコエコパークの理念、趣旨を広めていく必要がある。	単に楽しむだけでなく、外来種駆除や清掃活動など自然の恩恵を返す取り組みを推進していく。特に6月14日が登録記念日であることから「ユネスコエコパークの日」として自分が出来る取り組みを実践する機運を醸成していく。
	2	SDGsパートナー制度を確立し、身近な取り組み、活動の理念の普及啓発に取り組んでいる。	町内事業所や団体等が、どのような活動、どのような理念で取り組んでいるかを町広報等で周知することで、肩肘張らず申請出来ることの理解が進んだため前年を上回る登録となった。	パートナー登録した事業所、団体等に対するメリットが明確でないため、既登録者からの更なる展開が明確でない。	パートナー制度に登録された事業所、団体等が地域住民と関係性を構築し、更なる普及啓発の「旗振り役」となるよう連携調整を進める。 また、登録団体及び推進協議会関係者によるネットワークを構築し普及啓発の促進を図る。
	3				
	4				

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000005		SDGs未来都市事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	829,004 円		
施策体系	施策		12		自然環境の保全						2019年に認定されたSDGs未来都市計画の推進とSDGsの周知活動を図る				町内事業所や団体等にSDGs/パートナー制度を広報し、取組が理念に合致しているか評価を実施した。 また、令和6年度は第2回公募を実施し、11件の企業・団体を登録した。				事業実績		
	基本事業		02		SDGs啓発・活動支援														SDGs啓発活動参加者数(パートナー制度登録者)		
組織名				企画		課		地域創生				係		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策			
事業期間		継続事業			会計	1	款	2	項	1	目	6	SDGsへの理解を深め、行動につなげるための仕組みづくり及び現在取り組む活動がSDGsの理念にどの様に結び付くかを周知する				ヒアリング及び評価基準を確立し、登録者を増加させることで活動とSGDsの結び付きを理解する人を増やす。				
													令和 5年度		令和 6年度		単位				
													4		11		者				

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000006		ユネスコエコパーク推進事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		6,392,209 円				
施策体系	施策	12		自然環境の保全							ユネスコエコパークの理念である自然と人間社会の共生するまちづくりを推進するため、計画の策定や、普及啓発、等全体の運営を行う。				環境教育の実施、イベント出展、ホームページによる発信等ひろめる活動に取り組んだ。また、日本ユネスコエコパークネットワークと連携し情報発信に努め、ネイチャーポジティブ自治体認証や企業連携等にも繋がった。				事業実績						
	基本事業	01		ユネスコエコパーク推進															調査・保全活動件数（※環境教育、イベント、主要会議数の数をいれました）						
組織名		企画 課			地域創生 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 5年度		令和 6年度		単位				
事業期間	継続事業			会計	1	款	2	項	1	目	7	管理運営計画に基づく推進プランの作成と、普及啓発。				定期報告書を作成提出に向け製作すると同時に持続可能な活動に向けユース世代の参画に繋がるような啓発を継続していく。				75		86		件	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000007		木育推進事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		16,197,849 円															
施策体系	施策		12		自然環境の保全				木育を通じて、ユネスコエコパークの理念である自然と人間社会の共生するまちづくりを推進する。				拠点となるおもちゃ美術館設置のための調査、設計及び学校教育課と連携した木材活用				事業実績																
	基本事業		01		ユネスコエコパーク推進												木育イベント実施回数（※R6 イオン2、台南みなかみ中1、大宮1、中野1、霞ヶ関1）																
組織名		企画		課		地域創生				係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策															
事業期間		継続事業		会計		1		款		2		項		1		目		7		木育をテーマとして、子育て、教育、林業、観光等々の連携した仕組みの構築と人材の育成				おもちゃ美術館設置及び保育・教育関係者との連携強化				令和 5年度		令和 6年度		単位	
																				4				6				回					

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000008		森の恵と学びの家管理運営事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		893,131 円					
施策体系	施策		12		自然環境の保全							みなかみBRの発信拠点として「森と学びの森」をオープンさせた。その管理運営を行うと共に、カスタネットや木工体験を通じてみなかみBRの普及啓発を図る。				(株)たくみの里や町広葉樹産業化プロジェクトとも連携し、自伐型林業から搬出された木材の六次産業化に向けた課題解決を図った。				事業実績						
	基本事業		01		ユネスコエコパーク推進															来場者数						
	組織名				企画 課				地域創生 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業			会計		1 款		2		項		1 目		7		地域連携を強化し、広葉樹資源等を活かした商品開発や魅力向上に取り組む。また、加工製造に関する専門人材の発掘・育成に取り組む必要がある。				3546		4047		人	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000011		ネイチャーポジティブ推進事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		56,307,814 円							
施策体系	施策		12		自然環境の保全							ユネスコエコパークの理念である自然と人間社会の共生するまちづくりを推進するため、町内の生物多様性の保全と回復(ネイチャーポジティブ)を図る。				赤谷プロジェクトの知見を活かしつつ、民間の資金を活用し、生物多様性の保全と回復(ネイチャーポジティブ)に向けた全体計画の策定を検討している。				事業実績								
	基本事業		01		ユネスコエコパーク推進															生物多様性が劣化した人工林(町有林)の伐採面積								
												②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
組織名			企画			課		地域創生					係		生物多様性の調査は実施してきているが、生物多様性の回復に向けた取組までには至っていない。世界的にも生物多様性の保全と回復(ネイチャーポジティブ)に向けた取組が求められている。				生物多様性の保全と回復(ネイチャーポジティブ)に向けた具体的な取組を実践し、それを評価・見える化する。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1		款		2		項		1									目		7		1.34	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		小水力発電施設管理事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		488,081 円						
施策体系	施策		12	自然環境の保全							・市民協働事業で1kW程度の谷川ピコ水力発電所を設置した。 ・平成25年度矢瀬マイクロ水力発電所を設置。以降発電所の維持管理に加え、再生可能エネルギーの普及や環境教育に取り組む。				設置された2つの小水力発電施設について特に矢瀬公園小水力の維持管理を継続したが、再生可能エネルギーの普及を含む環境教育については十分とは言えない状況であった。				事業実績								
	基本事業		02	SDGs啓発・活動支援															年間発電量								
											②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
組織名			環境			課		環境対策				係		・水力発電施設を環境教育に展開すること。 ・水力発電施設の維持管理に伴う専門知識の習得及びスキルアップ。 ・出力13kwの連続運転が可能であることを確認した。 ・現在のところ冬期は水量が不足し運転できない。				谷川地区の小水力発電施設は地区で管理利活用を継続している状況です。矢瀬公園の小水力発電施設は矢瀬公園内の設備に電力供給をしているが、水量についてはJWRの水を利用していることから連年利用はできない状況にある。その中で施設の管理については現地の矢瀬公園にも参加していただき現地による環境教育にも参加していただきシステム作りの検討も必要に思う。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	11					19,698				26,485		kWh					

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		住宅省エネルギー設備設置費補助事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	1,510,000 円		
施策体系	施策		12		自然環境の保全							平成22年4月みなみ町住宅用省エネルギー設備設置費補助金交付要綱を新たに施行し、住宅用太陽光発電設備の設置に対して補助金を交付した。平成23年度からは、太陽光発電設備の設置が難しい北部地域でも省エネルギーの取り組みも助成できるよう、対象を太陽熱温水設備や高効率給湯設備まで拡大して設置費の補助を行っている。また、平成26年7月から高効率給湯設備の機種を拡大している。				HPなどにより周知した。				事業実績		
	基本事業		02		SDGs啓発・活動支援																	
											②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							
組織名			環境		課		環境対策					係		・太陽光発電設備について、国は平成26年度をもって補助を終了、県も平成28年度より融資制度に切り替わっている。町の制度も改正等を検討する必要がある。				令和 5年度	令和 6年度	単位		
事業期間		継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	11	46	37					件				

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		庁内エコ活動推進事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		528,000 円									
施策体系	施策	12		自然環境の保全						平成22年改正省エネルギー法により、エネルギーの原油換算使用量が1,500kl以上の事業者は中長期計画の策定および定期報告書の提出が義務化。地球温暖化対策では、温室効果ガスの削減に向け温暖化対策実行計画の策定が義務化。町は平成21年12月に地球温暖化対策法に基づく「みなみ町地球温暖化対策実行計画」を策定。また、平成22年10月に省エネルギー法による指定事業者指定された。				第4次実行計画に沿って、毎年2.6%のCo2排出量削減に向け取り組んでいる。				事業実績											
	基本事業	02		SDGs啓発・活動支援														Co2換算温室効果ガス排出量											
										②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策															
組織名		企画		課		企画調整						係				日本は、2050年にカーボンニュートラル、2030年に基準年比(2013年)46%削減していくことを宣言しました。この目標に対して、庁舎一体となった削減対策が必須となってきます。				計画に沿ってCo2削減に向けて取り組む。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	11	4,526		3,030		t-CO ₂														

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		環境対応車推進事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		2,299,482 P					
施策体系	施策		12		自然環境の保全							・電気自動車急速充電器設備の管理(町内4力所道の駅)町内に訪れる観光客や電気自動車ユーザーに環境に配慮した取り組みを町内外へアピールし、排出されるCO2を削減します。				急速充電器保守業務委託料の見直しを行った。				事業実績						
	基本事業		02		SDGs啓発・活動支援																					
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				急速充電器利用台数(累計)									
組織名			環境課			環境対策係							早くに導入したため課金機能が無く無料で充電できるため、利用者には大変喜ばれている。電気料と維持管理費が道の駅での買い物等に繋がっていれば良いが、今後の充電機器の更新をどのようにしていくかが課題				道の駅に設置している充電設備について、設置から9年が経過し今後の維持管理が懸念されるため、今後の運用を検討する。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1款		2項		1目		11						17615				22914		台		

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		生物多様性保全活動推進事業		① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		120,000 P			
施策 体系	施策		12		自然環境の保全		昆虫等の保護を推進する条例に基づき、自然環境や昆虫保護活動地域を指定、乱獲防止を図り、保護活動を支援し町の魅力向上を目指す					補助団体の自然共生サイトへの登録に向けて支援した					事業実績				
	基本事業		01		ユネスコエコパーク推進												令和 5年度			令和 6年度	
								②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策					昆虫等の保護を推進する条例に基づく補助団体数			
組織名				企画		課		地域創生		係		地域や住民への周知・普及不足					生物多様性の保全が図られている区域としての自然共生サイトが増えるよう支援を行う				
事業 期間		継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	11						4		4		団体

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		谷川岳ーノ倉沢道路適正利用推進事業										① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		41,762,503 円		
施策体系	施策		12		自然環境の保全										谷川岳ーノ倉道路の渋滞が予想される行楽シーズンについて交通規制を実施し、自然環境保全を中心に、歩行者の安全確保や通行車輛の事故防止を目的とします。				関係機関と連携して、電気バスの運行期間中、事故なく運行を行う。				事業実績			
	基本事業		01		ユネスコエコパーク推進																					
												②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				道路利用者数						
組織名			観光商工 課				観光振興 係				電気バスの持続的な運行				引き続き、関係機関と連携して、電気バスの運行期間中、事故なく運行を行う。				令和 5年度		令和 6年度		単位			
事業期間		継続事業			会計		1 款		2 項										1 目		11		40,356		38,085	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		ホテル保護事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		605,941 P								
施策 体系	施策		12		自然環境の保全					生活環境のバロメーター「ホテル」をはじめとする水棲生物等の生息地の整備など、自然との共生や環境保全を推進し、自然に親しむ機会の拡充に努めます。ホテルを守る会等と協力し、ホテル観賞会や小学校でのホテル教室など環境教育を推進します。さらに、観光資源として地域の活性化につなげます。ホテル関係施設の管理、ホテル観賞会、環境教育(ホテル教室)の実施、ホテル生息地・発生数等の調査を実施しています。					コロナ5類へ移行後、引き続き鑑賞会やイベントは中止しているが、保護活動やホテル教室は、予防対策をとりながら徐々に再開している。					事業実績		ホテル教室・保護育成活動参加延人数							
	基本事業		01		ユネスコエコパーク推進																								
	組織名		観光商工 課		観光振興 係					②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策														
事業 期間		継続事業		会 計		1 款		4 項		1 目		5		ホテルの情報(生息も含め)を発信し、保護するもの、観光とするものがマナーを守り共存していくことが必要である。ホテル保護を担当する職員の後継者の育成が必要である。コロナ5類へ移行後、活動を復活させていくこと。					活動に参加する皆さんが高齢化を迎え、世代交代をスムーズにできるよう検討していきたい。					令和 5年度		令和 6年度		単位	
																			713					799		人			

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000010		環境ポスターコンクール事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		46,950 円						
施策体系	施策		12		自然環境の保全					ユネスコエコパーク、ホテル保護など環境学習などを通じて学んだ自然の素晴らしさを普及啓発するため小中学生を対象にポスターコンクールを実施する。				小中学校で環境学習発表会や環境学習を実施し、エコパークに対する意識向上を図った。				事業実績							
	基本事業		01		ユネスコエコパーク推進													応募数							
								②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策													
組織名			企画課			地域創生係					応募が多いものの、環境意識の深まりにばらつきがあり、環境教育効果の向上が課題				環境教育とポスターコンクールを連動させて取り組む				令和 ５年度		令和 ６年度		単位		
事業期間		継続事業		会計		1		款		4									項		1		目		5

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000005		谷川岳エコツーリズム推進事業		① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		14,549,000 円		
施策体系	施策		12		自然環境の保全				平成24年6月に国から認定を受けた谷川岳エコツーリズム推進全体構想に基づき、谷川岳の自然を守りながら地域活性化に資する取組を推進するもの。	総会にて承認された登録制度に基づき、インタープリターを登録した。	事業実績							
	基本事業		01		ユネスコエコパーク推進						谷川岳エコツアー参加者数							
組織名		観光商工課		観光振興係				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策								
事業期間		継続事業		会計	1	款	7	項	2	目	1	インタープリターの養成及び登録制度の活用。		引き続き未登録のインタープリターを登録していく。		令和 5年度	令和 6年度	単位
																171	523	人

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000009		親水公園管理運営事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		122,810 円		
施策体系	施策		12		自然環境の保全					阿能川親水公園・須川川親水公園の維持管理事業である。地元住民により管理している。					—					事業実績			
	基本事業		01		ユネスコエコパーク推進															管理上の問題発生（対処）件数			
											②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策							
組織名				地域整備		課		都市計画			係		課題なし。					令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	3	目	1								0		0		件	